

平成17年度 第8回業績評価委員会医学研究評価部会議事要旨

1. 日 時：平成18年2月9日（木） 13：00～18：20
2. 場 所：労働者健康福祉機構本部 18階第一会議室
3. 出席者：櫻井委員長、福井委員、高田委員、柳澤委員、中井専門委員、白神専門委員、小川専門委員、小林専門委員、長尾専門委員、桜木専門委員
関原総括研究ディレクター、島浦勤労者医療課長
4. 議事

(1) 開会

委員7名の内4名、各分野の専門委員1名以上の出席があり、定足数を超えていることから医学研究評価部会が成立していることを宣言して開会。

(2) 理事長から櫻井委員長へ「せき髄損傷」、「騒音、電磁波等による感覚器障害」、「業務の過重負荷による脳・心臓疾患」、「働く女性のためのメディカルケア」分野の研究開発の中間評価について諮問

(3) 中間評価について

あらかじめ実施された書面評価（評価項目：研究開発計画の達成度・成果、今後の研究開発計画の妥当性（計画再検討の要否・研究継続能力）を踏まえてヒアリングが行われ、その後、各委員、専門委員により討議が行われた。

①「せき髄損傷」分野

研究の実施について申請どおり承認されたが、気をつけるべき点として以下のコメントがあった。

- ・ 予定の例数を達成するための体制整備に留意すること。
なお、形態の計測を重点とし、当初の研究体制の積極的な維持を考慮すること。
- ・ 研究データの解析については、研究アドバイザーとの密接な連携

を図りながら実施すること。

②「騒音、電磁波等による感覚器障害」分野

研究の実施について申請どおり承認された。

③「業務の過重負荷による脳・心臓疾患」分野

以下のコメントに基づいた労災疾病等12分野研究中間報告書・計画変更届の再提出を求められ、結果、書面評価により研究の実施について申請どおり承認された。

ア 研究1「業務の過重負荷と脳・心疾患発症との関連に関する調査研究」について

- ・十数年というスパンで長期的に研究を継続していけるようなシステム構築を念頭に置いたものとする。
- ・サンプルサイズの設定要件、心疾患発症件数抽出方法等、研究開発計画の具体的な実施方法について研究開発計画の変更部分を明確に記載すること。
- ・従属変数に心不全も含めること。

イ 研究1、研究2「急性心筋梗塞患者における性格特性と冠動脈病変の再発」、研究3「業務の過重負荷と頸動脈硬化病変の進展との関連に関する研究」について

- ・共通なストレス評価法の使用を検討すること。

④「働く女性のためのメディカルケア」分野

研究の実施について申請どおり承認された。